

第 18 回目（1994 年 2 月 19 日放送）

【いろはがるた】

「楽あれば苦あり」: If there is pleasure, there may also be pain.

【話の内容】

面積と人口で大きな違いがあるハワイ島とオアフ島の違いを紹介する。現在ハワイ島はオアフ島の7倍の面積をもっているが、その人口はオアフ島の1/7である。どうして2島で人口がこんなに違うのか。カメハメハ大王がハワイ島コハラで生まれたころは、ハワイ島に権力と人口が集まっていた。それがなぜ、オアフ島と逆転したのか。1911年2月1日の「ハワイ殖民新聞¹」によると、当時ハワイ島には55,382人が住んでいた。一方のオアフは83,993人²。オアフ島とハワイ島はそんなに違わない。移民はハワイ島が多かった。ホノルルに住む二世でも、ハワイ島で生まれたと話す人は多い。ハワイ島からホノルルに移る理由として、いい教育や仕事を求めてといったもののほかに、ホノルルは港もある。これから飛行機でのビジネスが増えると、土地のせまいオアフ島よりもハワイ島が開発される可能性は高い。

ハワイ島には世界一がたくさんある。マウナケアもマウナロアも富士山より高い。亡くなったスパーク・マツナガ（ハワイ州選出上・下院議員）も、ダニエル・イノウエ（ハワイ州選出上院議員・上院仮議長）も注目していた、マンガンがハワイ島から南米の方に続く海の底にあることも注目すべき。また、水も世界一おいしく、天文台も世界一。たくさんの天文台が設置してあるが、その中でも日本のものが一番いい。このようにハワイ島は土地がまだ広くあり、多くの可能性があるが、ハワイ諸島全部の日系人団体が協力しあうことが一番大切なことであり、オアフ島だけというのは良くない。以前は全島に団体があつたが、100周年の時の資金をオアフ島が全て取ってしまい、それ以来、各島の協力が無くなってしまった。

【曲】

「白蘭の歌」

【サブジェクトタグ】

移民のくらし ハワイ島 ハワイ殖民新聞

¹ Hoover Institute Library and Archives Japanese Diaspora Initiative の邦字新聞デジタル・コレクションで確認することができる。

<https://hojishinbun.hoover.org/?a=d&d=hss19110201-01&e=-----en-10--1--img----->

² 「ハワイ殖民新聞」1911年2月1日紙面上の数字と異なっている。